

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国語ⅡB	
科目基礎情報							
科目番号	0030			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	井口時男ほか『現代文B』（教育出版、2018年）、『ことばを広げる新漢字ノート』（浜島書店）						
担当教員	加藤 達彦						
到達目標							
1.話し手の言葉を聴き取り理解することができる（聴く力）。 2.授業で扱う様々な文章を読解することができる（読む力）。 3.自分の思いや考えを表現することができる（書く力）。 4.常用漢字をほぼ読み書きできる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）、かつ真意を推し量り、対応することができる。		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）理解することができる。		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）理解することができない。	
評価項目2		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解し、かつ鑑賞することができる。		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができる。		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができない。	
評価項目3		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に、かつ独創的に表現することができる。		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に表現することができる。		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		国語Ⅱでは、特に「読む」「書く」等の基礎学力の向上を重視する。また古典的な文芸を通じ、広く日本の文化や伝統に触れ、基礎的な知識を身につけると同時に豊かな人間性を養うべく、幅広い視点から教養を深めることを目標とする。					
授業の進め方・方法		①授業は基本的に教科書に沿って講義形式（スライド説明）で行う。 ②講義は集中して聴き、ノートを取るのは当然である。それに加えて、自分の意見やアイディアを記録する癖をつけること。 ③漢字テキストについては、自学自習を進めておくこと。 ④指示された課題は、目的を理解し、丁寧に取り組むこと。					
注意点		自ら疑問点を出し、積極的に質問して授業の中で解決していくという態度が大切である。そのためにも予習として前もって作品を読み、わからない語句等を辞書で調べてくれることが望ましい。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		テキストの使い方、授業の進め方、漢字学習の取り組み方と注意点、提出物に関する諸注意を理解する。		
		2週	①詩歌（2）宮沢賢治等を読解する。		詩人特有の表現技巧を知る。		
		3週	②詩歌（2）宮沢賢治等を読解する。		時代背景や思想を読み取り、作品を鑑賞する。		
		4週	③詩歌（2）宮沢賢治等を読解する。		筆者の他作品を読み、クラスで討議しながら鑑賞する。		
		5週	①評論（2）今井むつみ等を読解する。		評論の論理展開を学び、筆者の意見を正確に読み取る。		
		6週	②評論（2）今井むつみ等を読解する。		筆者の主張の背景にある言語観や思想を学ぶ。		
		7週	③評論（2）今井むつみ等を読解する。		筆者の主張を踏まえ、身近な現代社会の事象についてクラスで討議する。		
		8週	後期中間課題		課題に取り組み、読解力・表現力を養う。		
	4thQ	9週	言語活動 ディベートで討論する。		ディベートの方法を学び、実践する。		
		10週	①評論（4）谷崎潤一郎等を読解する。		文章を客観的に理解し、文化に関する考えを深めることができる。		
		11週	②評論（4）谷崎潤一郎等を読解する。		筆者の主張に関して、自分なりの考えを持つことができる。		
		12週	①小説（3）夏目漱石等を読解する。		小説が書かれた背景、作家について学ぶ。		
		13週	②小説（3）夏目漱石等を読解する。		小説に描かれた人物・情景・心情の描写ならびにその意図などを理解して味わう。		
		14週	③小説（3）夏目漱石等を読解する。		描写意図などを味わい、その効果について議論し、自分の言葉で説明できる。		
		15週	後期期末試験		今までの授業をふまえ、設問に対して正しく解答する。		
		16週	試験の解答と解説		試験問題を見直し、正しい解答の導き方を確認する。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	0	0	0	0	65	100

基礎的能力	35	0	0	0	0	65	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0